

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [名古屋市立丸の内中学校] 担当教諭名 [河村 有紀] (1年 A組 35名)
 相手国・地域 [ウガンダ]
 海外学校名 [Kabalega Secondary School] 担当教諭名 [山岡 正樹]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト(国際理解・他者理解)	13
	英語科	Presentation1(自己紹介) Unit5(学校の文化祭)What を使って質問する	4

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	多文化共生
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	世界のみんなとのつながり Strong relationship with all people in our world ~伝統文化を大切にして、未来へ向かって進んでいこう~ Let's treasure our traditional cultures and advance together towards our future



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の学校との交流を希望するようになった。 ・相手の考え方や気持ちを聞き、互いに尊重し合うことが大切であることに気づくことができた。 ・「知って終わり」ではなく、自分たちで行動を起こすことの大切さやおもしろさに気づくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にスカイプで交流する際に、教員が通訳することが多かった。生徒同士がもっと直接的に会話ができるように、時間をかけて指導できると良かった。 ・ウガンダとの時差があったため、授業時間内でスカイプ交流ができず、参加できない生徒がいた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカに対してマイナスイメージや偏見をもっていた生徒たちもいたが、ウガンダとの交流を通して、相手も同じように勉強したり、休み時間に遊んだりする様子を目の当たりにし、自分たちとの共通点を多く発見し、親近感がわいた様子であった。 ・外国のことをもっと知りたいという気持ちが高まり、時事ニュースに関心をもつようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマイルプロジェクトは予想以上に生徒、保護者、同僚教員の反響が大きく、また、その効果を実感することができた。遠いと感じていたアフリカを身近に感じる事ができ、今後も様々な国の生徒と交流させたいという気持ちが強くなった。 ・地球規模の課題の解決に、日本も大きな役割を担っていることを知り、教育の大切さを実感した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校紹介ビデオの制作 ・三重大附属中とスカイプ交流 ・カバレガ校とスカイプ交流 ・互いに質問を送り合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校紹介の動画を制作するにあたり、自分たちの学校の特徴や学校生活を振り返り、良さを共有することができた。 	総合4 放課後
共有 テーマ学習	7月 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の手紙を書く ・日本の文化を写真で紹介 ・多文化共生社会の実現について話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手が手紙を読んでいる動画を見て、英語が通じたことを喜んでいた。 ・「誰もが幸せに暮らせる街」を提案し地域の良さと課題を再確認できた。 	英語4 総合1
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・スカイプでメッセージや入りたい絵のデザインについて話し合う ・スカイプで贈り物の相談をする ・全校で「世界食糧デイ」に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際支援は、相手のニーズや気持ちを尊重した上で行うと良いことを実感し、相手の立場に立って、贈り物の品を話し合い、決定することができた。 	総合2 放課後
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会でアートマイルの紹介 ・募金活動 ・贈り物の購入や作成 ・壁画の制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの活動を全校に情報発信する大切さを実感することができた。 ・壁画のデザインに日本文化を取り入れることで、自国の魅力を再発見することができた。 	総合4 放課後
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物を開封する瞬間をスカイプで共有 ・保護者や他学年に成果を発表 ・完成した壁画の鑑賞、報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画や贈り物が実際に相手に渡り、喜んでる姿を見て、感動していた。 ・保護者から「一年間で成長した」と褒められ、嬉しそうであった。 	総合2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	ウガンダに伝えたい日本文化を話し合い、資料を作成した際に、自国の文化が世界に誇れるものであることを実感することができた。
異文化を理解する力	4	共通点も相違点も肯定的に受け止めることができていた。自分たちとは違う文化に興味をもち、質問をしたり、調べたりすることができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	ウガンダについて調べたことをクイズにして紹介する活動や総合学習発表会では、ユーモアを交えながら自分が学んだことを発信していた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	毎回話し合い活動を中心に進めたが、日本語や英語で自分の意見を伝えたり、相手の意見を傾聴したりする力がついた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	贈り物を決定する話し合いでは、贈り物として適する・適さない理由を、理論立てて言える生徒もいたが、多数派に流されてしまう生徒もいた。
主体的に考え行動する力	5	全校集会で活動を紹介し、募金活動を行ったり、校外学習に出かけたり、贈り物を送ったりしたことは、生徒からの提案で行うことができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	校内の生徒会行事などの場面で、学級一丸となって一つのものを完成させることができるようになった。助け合える学級体制ができてきた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	キーワードを挙げてメッセージを考えたり、そのメッセージを表す絵を提案したりすることができた。また発表会で想いを伝えることができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	活動を振り返り、一人一人が一年間の学びをまとめ、保護者に向けて発表することができた。その中で自分の成長を実感することができた。